



食育への関心が向上

平成27年度食育アンケートの結果

第2次帯広市食育推進計画に基づく「食育」の推進に向けた取り組みの効果を検証し、第3次計画策定の基礎資料とするため、市民の皆さんに食育アンケートを実施しました。

問い合わせ 農政課（川西町基線61、☎59・2323）

帯広市での食育の推進

食育とは、さまざまな経験を通じて、「食」に関する知識と情報を選択する力を身に付け、生涯にわたり健全な食生活を実践できる人を育てることです。

国は、平成17年に食育基本法を制定し、翌年3月に食育推進基本計画を策定しました。

これを受け、帯広市でも平成19年に帯広市食育推進計画（平成19～23年度）を、平成24年には、第2次帯広市食育推進計画（平成24～28年度）を策定しました。

第2次帯広市食育推進計画の基本方針

- ①食を通じて 健全な「身体」を育む
- ②食を通じて 豊かな「心」を育む
- ③食を通じて 元気な「地域」を育む

市はこの計画に基づき、市民の食育に対する関心を高めるため、関係団体と連携し、食育フェスティバルを開催したほか、食育レシピの作成や、小中学校で十勝・帯



十勝産食材を使ったピザづくり

食育アンケートを実施

市民の食育の実践度などを把握し、第3次計画（平成29～33年度）策定の基礎資料とするため、食育アンケートを実施しました。

アンケートの概要

- ◆対象 20歳以上の市民（3000人）
- ・市内全小学6年生、中学3年生（合計2830人）

◆期間

平成27年11月13日～12月18日

◆回答数（回答率）

- ・20歳以上の市民 1276人（42・5%）
- ・小学6年生、中学3年生 2624人（92・7%）

アンケート結果の傾向

平成22年に実施したアンケートと今回の結果を比較すると、野菜を1日3回食べる人の割合や食育に関心を持つ人の割合が増加しました（図②、⑤）。また、朝食を欠食する20歳以上の市民の割合が減少し、第2次計画策定時に設定した平成28年度までの目標値を達成する（図①）など、全体的にこれまでの食育の推進に向けた取り組みの成果が見られます。

一方で、小中学生では、朝は「食欲がない」「時間があまりない」「食べる習慣がない」などの理由で、朝食を欠食する割合が増加しました（図①）。子どもはもちろん、保護者にも朝食の重要性を理解してもらい取り組みが必要と言えます。また、食事を家族などと一緒に食べる割合が減少している（図④）ことなどから、多様化する社会環境などを踏まえて、更なる食

育の推進に向けた取り組みを、今後も継続することが重要と捉えています。

第3次計画策定に向けた今後の取り組み

市の関係各課で構成された庁内策定委員会を中心に、これまでの取り組みの検証を行います。

また、今回実施したアンケートの結果や、国や道が策定している食育計画の重点課題などを踏まえ、新たな計画の方針、施策を検討します。この他に、食育に関係する

各種団体との意見交換や、パブリックコメント（市民意見提出制度）の手続きを経て、平成29年3月に第3次計画を策定する予定です。



搾乳体験

図 食育アンケートの結果

グラフの凡例
■平成22年度
■平成27年度
□第2次計画の目標値

